

---

## CDI ~after story~

霧清 宥撕

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

C D I ｾ a f t e r s t o r y ｾ

### 【Nコード】

N 6 1 6 0 Z

### 【作者名】

鸞清 宥撕

### 【あらすじ】

あの日から数日後、新たな主人公が戸惑い、巻き込まれるが、懸命に頑張る物語です。

夢（C D I）の続編です。

## 一日目（前書き）

夢の続編ですが、夢というタイトルを12月31日にCDIに変更します。初心者で、更新に時間の掛かる者ですが、またよろしくお願ひします。

## 一日目

「実験もいよいよ大詰めか。」

と男は言った。

男は座ると、書類に目を通し始めた。

男は書類に一通り目を通すと、立って窓の向こうの空を見つめた。

男の名は坪田雅史。彼は町長で、町は国のプロジェクトを行う様々な市町村の一つだ。

国のプロジェクトとは、ある年から顕著になってきた学力低下に歯止めを掛けようと始まったC D I（脳の耐久性調査）の事だ。

C D Iとは、脳がどれぐらいまで耐えて処理できるかというのを調べる計画のことだ。

それで調査対象の調査結果を監察者（親が多い）が調査終わり次第まとめ、一度市町村の長のもとに集められて、その後国の機関に送られて機関が総ての調査結果をまとめ、国がその結果から学力向上のための案を作るという大規模なプロジェクトだ。

ところで何故、C D Iと学力向上が関係があるのか。

単に言えば、学力向上のためには、勉強である。しかし、勉強を只漫然としては知識としてつかない。だからといって、脳を限界を越え、酷使する事をする返って悪化してしまう危険性がある。

なので、脳の処理能力の限界を越えないように、より沢山勉強させ、理解してより知識を増やすにはどうすれば良いか、そのために、この計画が立案され、実行に移されたのだ。勿論、人権を尊重してないという方々から反対されたが、国は強行した。

又、これに関する報道や記事や書き込み、掲示板は全て規制され、後、ネットやテレビ、新聞は検閲を受けている。その為この計画を

知る国民は数少ない。

町長は窓を見つめていると、電話が鳴った。町長は窓を見つめていると、電話が鳴った。受付の磐田杏<sup>いわた あん</sup>からだ。

「お客様がいらっしゃいました。」

と彼女は言った。

町長は通してと言い、受話器を置いた。

暫くして、扉がノックされた。町長は入ってと言うと女の人が入ってきた。町長は座つてと言うと彼女は座った。向かい側に町長が座り、話し始めた。

「すまない。こんなことが起きてしまうとは私も、分からなかった。」

「はい。」

「まさか、対象が監察者と監察者の手伝いをしていたあなたの両親を殺すとは。」

「ええ。」

「誠にすまない。あなたの両親になんと詫びれば良いか。」

「はい。それで苗字はもとに戻してもいいですか。」

「ああ。この実験は終わったから。」

「分かりました。」

「それで、葬儀などはこちらで用意させていただきたいのだが。」

「ありがとうございます。では、私はこれにて失礼します。」

「ああ。では。」

彼女は部屋を後にした。

彼女の名は齋日碧。しかし本名は、羽馬那碧。羽馬那柚井と羽馬那<sup>か</sup>式司<sup>すし</sup>の实の娘だ。彼女は壊れた西陽葉瑠によって両親を失った。犯人の西陽葉瑠は精神異常のため、捕まっても刑が軽かった。

しかし、彼女は何故偽名を使ったのか。彼女の両親は選ばれた対象の監察者の手伝いをしていた。その為、彼女は学校で対象を監察するため、怪しまれないようするため名を変えて、学校にいたのだ。

彼女は町役場を出るとそのまま家に帰った。

家に帰ったが、両親は死んだので一人ぼっちだった。

だが、彼女は高校生だから様々な選択ができた。養子縁組に入る、中退して社会人になる、一人バイトしながら通うなど。

彼女はバイトしながら通うことを選んだ。両親から料理などを教えてもらったりしたから、又両親の遺産があるから選べたのだ。

が、彼女はあまり遺産は生活費に使いたくないので、生活費は卒業迄はバイトの収入で稼ぐことにしていた。

もう夕方なので、夕食を作って、食べた。両親が殺された後、食べる時寂しくて辛かったが、今では慣れてきた。そして、勉強等をして就寝した。

## 一日目（後書き）

これからキャラの紹介を少しずつしていこうと思います。  
又ご意見や感想等よろしく願います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6160z/>

---

CDI ~after story~

2011年12月20日18時51分発行